

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
吉野川市	美郷地区	令和4年3月25日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	72.64 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	53.56 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	16.12 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	10.34 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	20.42 ha

2 対象地区の課題

全域が山間農業地域となっており、まとまった農地が少ないうえ、山に囲まれているため日照が少ない地域が多い。一部の集落では中山間地域直接支払い交付金を活用し営農しているが、中心経営体となる担い手はほぼいない状態である。また、人口の減少と高齢化が今後も進むため、新たな担い手の確保が課題である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体自体が少ないため、新たな中心経営体の確保や他地区からの受け入れができるように取り組んでいく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法		肉用牛		肉用牛		
認農法		<small>大豆・飼料米・飼料作物・野菜</small>	1.87 ha	<small>大豆・飼料米・飼料作物・野菜</small>	1.87 ha	
認農法		野菜	2.98 ha	野菜	10.00 ha	
認農		野菜+果樹	1.97 ha	野菜+果樹	1.97 ha	
認就		野菜	0.33 ha	野菜	0.62 ha	
認就		野菜	1.16 ha	野菜	5.00 ha	
認就				水稲+野菜	1.50 ha	
認就		野菜	3.23 ha	野菜	8.00 ha	
到達		果樹	1.39 ha	果樹	4.39 ha	
計	9人		12.93 ha		33.35 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

農地中間管理機構の活用方針
 将来の経営農地の集約化や効率的な営農の他、中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には新たな受け手への付け替えをスムーズに進めることができるよう、担い手の確保と共に農地中間管理機構の活用ができるよう検討する。

鳥獣被害防止対策の取組方針
 猟友会との連携により被害状況の把握や、侵入防止柵の活用等を推進する。

